

第3学年 小学校学級活動（2）指導案

- 1 題材名 「家族のことで困ったときには・・・」
 （ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成）

- 2 題材について
 （1）児童の実態
 （2）題材設定の理由 } （省略）

3 第3学年及び第4学年の評価規準

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者として の思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸問題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸問題に気付き、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり、振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

4 事前の指導 （省略）

5 本時の目標

様々な家族（ヤングケアラー）について理解し、現在および生涯にわたって心身の健康を保持増進すると共に、自分や他の生命を尊重していこうとする態度を育てる。

<ヤングケアラーの扱いについて>

本題材では、様々な家族（ヤングケアラー）について理解し、児童が心身ともに健やかに成長すると共に、自己の健康や安全を保持増進するために的確な行動選択を行うことができることをねらいとしている。その具体的な行動選択の1つとして、悩みや不安な気持ちがあったら一人で抱えこまずに先生や周りの大人に話したり、相談したりできるように指導する。本題材では、具体的な相談相手として「スクールカウンセラー」を紹介する。

ヤングケアラーとは、「家族のために、本来であれば大人がするような家事や家族の世話などを行っている18歳未満の子供のこと」である。中学年という発達段階を考慮して、『ヤングケアラー』とは、家族のためにどんなケアを行っている子供なのか」という理解が進むように具体的なその子どもの姿を示して指導する。

6 展開

段階	児童の活動	指導上の留意点		教材 ・資料	◎ 目指す児童の姿(観点) 【評価方法】
		T 1 (学級担任)	T 2 (S C)		
導入 15分 (つかむ)	<p>1 現在、自分が家庭で担っている仕事(お手伝い)について振り返る。</p> <p>2 動画「ヤングケアラー編～私たちはヤングケアラーだった～(神谷直樹さん編)」を視聴する。</p>	<p>・事前のアンケート結果を知らせ、子どもが家庭で担う仕事(お手伝い)について様々であるあることを理解できるようにする。</p> <p>・神谷さんの置かれていた家庭環境や状況について確かめる。</p>		<p>・アンケート集計表</p> <p>・埼玉県ケアラー支援WEB講座の公開動画</p> <p>・認知症についての資料</p>	

		<p>【押さえる表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父子家庭 ・小6から ・認知症だった祖母の介護 ・朝昼晩の食事の準備 ・病院への付き添い ・排泄介助 ・同じ年ぐらゐの他の友達とは違う環境だと感じていた。 	
<p>展開 25分 (さぐる)</p>	<p>3 ヤングケアラーについて理解する。</p> <div data-bbox="441 1609 1110 1984" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ヤングケアラーとは、家族のために、本来であれば大人がするような家事や家族の世話などを行っている18歳未満の子供のことです。</p> </div> <div data-bbox="441 2041 1239 2370" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて ヤングケアラーについて考えよう。 ○自分だったら・・・ ○周りの友達だったら・・・</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーの定義について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヤングケアラーってなに？」冊子 (P. 2, 3)

<p>4 動画を視聴した感想をワークシートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーは、家庭の手伝いとは異なり、子供の補える力を超えるケアをしている18歳未満の子供であることに気付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
<p>5 ヤングケアラーについて考える。 小グループで「自分だったら・・・」「周りの友達だったら・・・」という視点で話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・困っていることがあったり、不安な気持ちがあったりするときは、先生や周りの大人に知らせることも必要だと気付けるようにする。 ・ヤングケアラーとしてケアをしている人の中には、「他の人には言わないでほし 	<p>◎ヤングケアラーや周りにヤングケアラーの友達がいたときに気を付けることを理解している。 【知・技】 (観察・発言)</p>

		<p>い」という人もいるので、周りの友達がそのような状況にある場合は、相手を思いやり慎重に対応したり、声をかけたりできるように理解させる。</p>			
	<p>6 小グループで話し合ったことをグループごとに発表し、学級全体で共有する。</p>				
	<p>7 スクールカウンセラー（さわやか相談室）の先生の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が家族や自分のことなどで、困っていることや話を聞いてもらいたいことがあるときは、心の悩みに対する 	<p>体の健康と同様に心の健康もあることを説明する。</p> <p>小さな</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやか相談室の掲示 ・SCの先生の来校日の掲示 	

		専門家の 「スクール カウンセラ ー（さわや か相談室）」 の先生がい ることを知 らせる。	ことで も悩み や不安 な気持 ちがあ ったら 一人で 抱え込 まずに 話しに 来てほ しいこ とを知 らせ る。	
--	--	---	---	--

<p>終末5分（決める）</p>	<p>8 本時について振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーについてわかったことや自分が考えたことを発表させる。 ・困ったときや不安な気持ちがあったときは、先生や周りの大人に知ってもらうための方法があることに気付くとともに、その行動ができるようにする。 ・困ったときや不安な気持ちのときも、けして一人ではないという実感がもてるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカード 	<p>◎ヤングケアラーの抱える困難や大変さに気付き、その問題を解決する方法を自分なりに考え、表現している。</p> <p>【思・判・表】 (振り返りカード・観察・発言)</p>
------------------	----------------------	---	--	--	--